

はま風 *sea breeze*

Vol. 23

2021. 2

With コロナでの図書館サービス実施中



- ◆開館前に閲覧席等の清拭と消毒作業
- ◆消毒液、ハンドソープを完備
- ◆カウンター等にビニールシートを設置
- ◆利用後の図書は3日後に書架へ配架



- ◆閲覧座席数を縮減・定期的な換気
- ◆換気効率向上のための送風機2台設置
- ◆空調・換気システムも常時稼動

- ◆オンライン資料のリモートアクセス
- ◆貸出希望図書の事前予約受付
- ◆郵送貸出、郵送返却の受付 など



◆巻頭言 p. 2

「人から人への贈り物」

教育学部 学部長代行 川渕 博祥

◆推薦図書の紹介 p. 3, 4

・「看取り犬・文福の奇跡：心が温かくなる15の掌編」

教育学部 学科長補佐 和田 憲明

・「星の王子さま」

看護学部 教授 荻 あや子

・「社会とは何か：システムからプロセスへ」

教務・学生・厚生課 加藤 慎一

◆オンライン資料のリモートアクセスについて p. 5

◆附属図書館からのお知らせ p. 6

巻頭言



人から人への贈り物

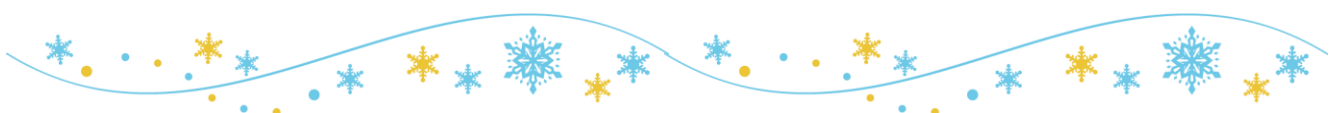
姫路大学 教育学部
学部長代行 川渕 博祥

「読み書きそろばん」は、江戸時代の「寺子屋」で行われていた初等教育です。その中でも読むことは、教育の基本です。今でも、本を読む大切さは、よく言われ、「言語活動の充実」が叫ばれて久しくなります。その習慣付けの一つとして、「読書の秋」という言葉があります。季節柄過ごしやすく涼しい秋には、何かと「〇〇の秋」と言われる言葉が多いようです。「読書週間」は、10月27日～11月9日の文化の日を挟んだ2週間で設定されています。この時期は、読書に親しむ良い時期ということでしょう。

今の世の中の特徴は、何と言っても「コロナ禍」です。読書時間の特徴としても、読売新聞社の調査によると、在宅時間の増加の影響か、読書時間が12%増えたという結果が出ています。また、読書傾向として60歳代以上は「医療や健康に関する本」、40～50歳代は「人生について深く考える本」や「現実を忘れて著者が描く世界に没頭出来る本」、18～29歳は「現実を忘れて著者が描く世界に没頭出来る本」が多かったようです。年代の違いによる傾向が、理解できそうで、年代別の世の中の動きやGoToに対する行動にも表れていました。また、コロナ禍における図書館の取り組みとしては、「入館人数の制限(50%)」「事前予約した本の窓口での貸し出し(40%)」「貸し出し冊数の増冊や貸出期間の延長(30%)」(複数回答)が多かったようです。本学も様々な工夫がなされていました。まさか、こういう時代が来るとは、誰も思っていなかったでしょう。しかし、人は、知恵を出し合い、対応していく力があるものです。

私はNHKの大河ドラマが好きでよく見ています。「書物」については、5年前の「花燃ゆ」の主人公「文」の兄・吉田松陰がドラマ中で使っていた言葉が強く心に残っています。書物は、「今、遠くて会えない人でもその人の考えを知ることが出来る」、「何年も前の人と会話ができる」という言葉です。吉田松陰の名言集には、「今日の読書こそ、真の学問である」や「一日一字を記さば、一年にして三百六十字を得、一夜一時を怠らば、百歳の間三万六千時を失う」という読書や文字、時の大切さを説いた言葉があります。

今は、書物以外にも知識を得る方法はたくさんあります。しかし、知識欲を書物に頼るしかなかった時代もそうですが、書物は、すぐには消えないし、逃げません。書物は、何時までも手元にも心にも残るということでは、現代にも十分役立ち、昔と何ら変わる事のない人から人への素晴らしい贈り物だと言えます。



推薦図書を紹介



『看取り犬・文福の奇跡：心が温かくなる15の掌編』

若山 三千彦（著） 東邦出版 2019年8月

教育学部 学科長補佐 和田 憲明

配架場所：一般図書コーナー
請求記号：369.263||WAK
ラベル番号：0048827

新型コロナウイルスの感染拡大により、グローバル化で開かれていた国境は閉じられ、人と人との対面のコミュニケーションも十分にできない状況が続いています。国と国、人と人との信頼関係に大きな亀裂が生まれ、お互いに対する不信感が増幅しているように思われます。今だからこそ、自国以外の国のことや他人に対する思いやりや支援がより一層求められているのではないのでしょうか。

『看取り犬 文福の奇跡』は、横須賀の特別養護老人ホームで実際に起こった奇跡を描いています。「看取り犬」という言葉をご存じでしょうか。看取り犬、文福には人の最期を予知できる特別な能力が備わっているのです。人の最期を予知した文福は、入居者のそばに寄り添い、最後まで愛情を注ぎ、看取っていきます。その姿は、見るものに感動を与え、本当の愛情とは何かを教えてください。

「文福はただ単に入居者の最期を察知しているだけではない。明らかに入居者の最期に寄り添うという意思を持っていた。(中略)かつて人間に捨てられ、命を失いかけた文福が、こうして高齢者の最期を見守るために全力で尽くしてくれるとは・・・。」



『星の王子さま 岩波少年文庫』

アントアヌ・ド・サン・テグジュペリ（著）、内藤 濯（訳）

岩波書店 2000年5月

看護学部 教授 荻 あや子

配架場所：一般図書コーナー
請求記号：908||IWA||1
ラベル番号：0010354

今から120年前にリオンで誕生したフランスの作家の書籍である。常にそばにおいて、幾度となく読み返したくなる一冊である。また、私自身のものの考え方や人間のとらえ方に対して「本当にそれでいいの？」と問い直し、考えさせてくれる指南書でもある。

王子さまと出会い、場や時間を経験する中で『おとなは数字が好きで年齢や収入などでどんな人かをわかったつもりになる』が、『ものそのもの、ことそのことが大切である』と、本当に大切なことが何であるか、大切なことをわかろうとしているかを問われる。また『目の前に見ているのは人間の外側だけで、一番大切なことは目に見えない』、『心で見なければ・・・肝心なことは目に見えない』と、人をわかる（理解する）ということが簡単でないことを教えられる。看護の先人もまた、『他人の感情のただ中へ自己を投入する (Nightingale, F.)』や『皮膚の内側に入り込む (Henderson, V.)』と述べているように、今ここでの、その人の経験に立ち戻り、「その人であること（経験）」に、真摯に寄り添うことが重要であると気付かせてくれる。

推薦図書を紹介



『社会とは何か：システムからプロセスへ 中公新書』

竹沢 尚一郎（著） 中央公論新社 2010年1月

教務・学生・厚生課 加藤 慎一

配架場所：一般図書コーナー
請求記号：080||CHU||2037
ラベル番号：0049172

私達はテレビや新聞において「社会」という単語を頻繁に目にし、親や友人達との会話の中でも「社会」という単語をよく使います。そして、私達は、先人たちが創造した「社会」の中で生きています。しかし、この「社会」について、いつ・どこで・どのようにして創造されたのか、「社会」はどのようにして発展してきたのかを理解している人がどの程度いるのでしょうか。私達の多くは、「社会」という言葉をよく知らないまま日常の場面で使っていないのでしょうか。本書は、そんな「社会」について

学ぶための入門書として必読です。

本書の著者の竹沢尚一郎氏は文化人類学の研究者で、人類学に加え、宗教学、西アフリカ史、社会史、文化史といった幅広いテーマを研究し、数多くの論文・著書を執筆されています。

本書は全5章から構成されており、前半部では17世紀から19世紀までの社会状況を概観しつつ、社会概念の成立過程の歴史について丁寧に説明されています。後半部では、著者自身が行った調査・研究に基づく具体的な事例が取り上げられ、そこから社会の在り方について話が展開されます。最後に著者は、自身の体験談も織り交ぜながら、新たな社会の構築が必要であると結論づけます。

本書は、デュルケムまでの社会学史となっていますが、社会概念の成立過程とその発展や社会学の成立について丁寧に書かれており、文章も明快でとても分かりやすいです。そのため、本書を読むうえで社会学の専門的知識は要らず、専門外の人でも十分に楽しめる本です。

特に後半部分では、私達にとって身近な問題である外国人移民の問題や水俣病の問題が取り上げられており、読者が「社会」について考えを巡らせるには最適な問題設定だと思います。また、著者の調査研究に基づいているため、読んでいて非常に説得力があり納得しながら読み進められ、あっという間に読み終えることが出来る本だと思います。

本書の最後には、各章ごとに参考文献がしっかりと明記されており、さらに深い学びを求める方の道標になるかと思います。

最後に、新型コロナウイルス感染症拡大により、私達の社会は一変しました。これまで私達が当たり前だと思っていたものがそうではなくなり、ダイナミックに社会は変化しています。私達は、今、社会の変化の過渡期にいます。そんな時だからこそ、これからの社会はどうあるべきかを考えることはとても大切なことだと思います。私達一人一人が社会について考える上で、本書は多くの示唆を与えてくれると思います。是非みなさんも読んでみてください。

オンライン資料のリモートアクセスについて

図書館が所蔵している電子ジャーナル、電子書籍、データベースなどの、オンラインの電子資料を学外から利用することをリモートアクセスといいます。リモートアクセスには様々な方法がありますが、当館では現在、下記のとおり、ID・パスワードの発行によるリモートアクセスを提供していますので、ぜひご活用ください。

質問1. どのオンライン資料を、リモートアクセスで利用できますか？

当館では現在のところ、契約・購読している全てのオンライン資料が学外からリモートアクセスで利用できます。但し、各資料によって同時にアクセスできる台数が異なります。アクセスできないときは時間を置いて利用してください。

質問2. どうすればリモートアクセスができますか？

- ・本学所属の学部学生、院生、教員へは学外からのアクセスに必要なログインID・パスワードをアクティブ・ポータルでお知らせしています。但し、一部の資料は所属に応じて、一律にはID・パスワードをお知らせしていないオンライン資料があります。それらの資料を利用したい場合は、下記の[図書館サービス申込フォーム]から申し込んでください。
- ・上記以外の学生、教職員は、当館のホームページの「新型コロナウイルス感染症対策中の図書館の利用について」--->[図書館サービス申込フォーム]からID・パスワードの発行を申し込んでください。

質問3. オンライン資料はどこからアクセスすれば利用できますか？

当館のホームページの「学術情報検索」、「新型コロナウイルス感染症対策中の図書館の利用について」のページに全てのリンクがあります。
また、電子ジャーナル、電子書籍については、「蔵書検索」で検索ができます。そのリンクからアクセスすることもできます。

クリックすると、各オンライン資料への直接リンクがあります。リンクをクリックすると、ID・パスワードの入力画面が表示されるので入力し、ログインして利用してください。

「電子書籍」または「電子ジャーナル」を選択して「検索開始」。

「電子ジャーナル」をクリック。

ID・パスワードの入力画面が表示されるので入力し、ログインして利用。

「参照 URL」をクリック。

ID・パスワードの入力画面が表示されるので入力し、ログインして利用。

※利用後は必ずログアウトしてください。

「蔵書検索」画面からも検索できます

電子ジャーナルの場合

電子書籍の場合

附属図書館からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策中の図書館の利用について

今年度は新型コロナウイルス感染症への対応として、2020年6月22日より事前予約による貸出サービスと郵送貸出の開始、9月17日からは本学の対面授業の一部再開に合わせて来館利用の制限緩和を行いました。2021年1月14日より兵庫県にも再度、緊急事態宣言が発出されましたが、引き続き大きな変更はなく、感染対策を徹底しながらサービスを継続しています。サービスに変更があればその都度ホームページやアクティブ・ポータルでお知らせします。

【入館に際しての注意】

- ・入館の際はマスク着用、手指消毒または手洗いをお願いします。退館時も手指衛生をお願いします。
- ・当館を利用するためにのみ大学へ入構する場合は、来館の3日前までの来館予約が必要です。当館のホームページの[新型コロナウイルス感染症対策中の図書館利用について](#)→[図書館サービス申込フォーム]から手続きをしてください。授業等のため入構許可を得て来学している場合は、来館予約は不要です。
- ・入館記録をとっていますので、入館時には図書館カウンターで学生証を提示してください。

遠隔授業で「コロナ禍における新しい図書館の利用の仕方」を説明しました

今年度9月の後期以降の対面授業の一部再開に伴い、新入生への図書館見学・オリエンテーションを実施しましたが、豊岡短大姫路キャンパスの新入生以外の参加がほとんどありませんでした。そこで、教育学部の新入生に対しては、対面授業が学部全体の半数ずつで実施され、来館利用の増加が見込まれることから、9月23日の遠隔授業の基礎ゼミにおいて、当館より、「コロナ禍における新しい図書館の利用の仕方」を説明しました。今後もオンラインを活用した利用支援の整備を進めていきます。

蔵書点検に伴う休館について

2月16日（火）から2月20日（土）までの期間は、蔵書点検のため休館します。ご不便をおかけしますが、ご了承くださいますようお願いいたします。なお、当館所蔵資料に対する郵送貸出申込（送料申込者負担）、図書館間相互利用による学外への文献複写・図書貸借申込、レファレンスサービスのWeb申請は、休館中も受付けています。但し、点検作業中のため、回答が通常より遅くなる場合があります。

卒業予定学生の資料返却期限について

2020（令和2）年度に卒業する学生の図書館資料の返却期限は、2月27日（土）とします。借りている全ての資料を返却してください。

卒業後の本学図書館の利用について

通常であれば本学の卒業生は、卒業後も新たに利用者登録の手続きをすれば、本学図書館を利用することができますが、現在は、新型コロナウイルス感染拡大につき、卒業生を含めて学外者（本学に在籍しない者）の利用をお断りしています。但し、様々な情勢を考慮しながら、利用再開の是非について継続的に協議、検討しています。利用再開の際はホームページで案内しますので、その都度確認してください。

姫路大学附属図書館ニュースレター

はま風 sea breeze 第23号 2021年2月4日（木）発行

■編集・発行 姫路大学附属図書館

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2

TEL：079-247-7396

E-MAIL: tosyokan@koutoku.ac.jp

編集後記

新型コロナウイルス感染症発生以来、人々の生活に大きな困難が生じています。そのような中であっても、当館は読書や学習、知的活動の拠点としての役割を果たせるよう努め、そのことを通じて皆さんの活動や生活が少しでも前進することを願っています。ご意見、ご要望をぜひお寄せください。

（河本）